

英進館の教職員560名が「ユニバーサルマナー検定」を取得！

西日本を中心に中高大学受験の学習塾を展開する英進館株式会社（総本部：福岡市中央区、社長：筒井俊英、以下：英進館）は、在籍する中高生のうち約11,000名に対し、「ユニバーサルマナー検定」（主催：一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（大阪市 代表理事：垣内俊哉））の取得を推進するため、まずは2019年5月8日より当社社員560名の検定取得を開始いたします。なお、塾業界における同検定の導入は、全国初となります。

■ユニバーサルマナー検定とは

「ユニバーサルマナー検定」とは、高齢者や障害者への基本的な向き合い方やお声がけ方法を障害のある当事者講師から学ぶ検定資格です。この検定を通して、自分とは違う誰かを思いやる「心のバリアフリー」教育を行います。

■取り組みに至った背景

2020年の大学入試改革では従来型の知識や技能に加え、思考力・判断力・表現力、答えのない問に対して如何に他者の考えから学び自分の意見を導き出すのか（協働する姿勢）、といった新しい学力が求められます。また、推薦・AO入試の定員割合が高まり、一般入試においても総合的な人間力を問う「人物評価」が合否決定の重要な要素となります。

英進館ではこうした入試改革にいち早く対応し、すでにアクティブ・ラーニングや英語4技能などの次世代型指導を実施すると同時に、「自立した社会人の育成」という企業理念に基づき、あいさつ指導や心の教育によって豊かな人間性を育む取り組みを実施してまいりました。

■ユニバーサルマナー検定 導入のねらい

ユニバーサルマナーとは、自分とは違う誰かのことを思いやり、適切な知識のもと、サポートを実践することを意味します。この検定によって大学入試で問われる人間性の育成はもとより、高齢者の割合が27%を超えた超高齢社会、身の回りに多様な人種・文化・価値観が混在するダイバーシティ社会を牽引できる人材を輩出したいと考えています。この検定を障害のある当事者講師から直接学ぶことは、障害者と接する極めて具体的な体験となるため、いつまでも色褪せることなく我々や生徒たちの記憶に残すことができます。

すでに英進館では2018年8月の夏期講習にてユニバーサルマナー検定3級の取得講座を行い、中1中2の生徒合わせて413名が資格を取得しました。今後は各地で定期的な開催を目指し、英進館社員全員での検定取得を目指します。まずはそのキックオフとして、5月8日に英進館天神本館にて第1回目の検定を開催します。キックオフ開催では、通常ユニバーサルマナー検定3級に加え、車いすの押し方

や視覚障害者の誘導方法についても簡単な実技を通して学べる場を設けます。実際に車いすに乗ったり、アイマスクをつけたりすることで、当事者の気持ちを理解し、相手の気持ちを尊重できる力を身に着けます。

【英進館ユニバーサルマナー検定概要】

日時：2019年5月8日 11:00～13:15

場所：英進館 天神総本部

〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-11-12

内容：ユニバーサルマナー検定3級

対象：英進館福岡地区の社員約100名

本件（ニュースリリース）に関するお問い合わせ先

英進館株式会社／ 中尾・高野 TEL：092-711-9101